

日外協のネットワーク

イベントを共同で開催する「海外子女教育振興財団」と「日本アセアンセンター」から見る日外協は



公益財団法人
海外子女教育振興財団



子どもたちに安全安心で 豊かな教育を届けるために



公益財団法人 海外子女教育振興財団
(JOES: Japan Overseas Educational Services)
業務執行理事 経営企画部長

浅原 賢氏

―― 50 年以上、海外子女教育に尽力されていますね。

海外子女教育振興財団(以下、JOES:ジョーズ)は、海外駐在員が帯同する子どもたちの教育を経済界が一致協力して支えようという意思の下、1971年に外務省および文部省(現・文部科学省)の許可を受け、財団法人として設立されました。2011年には内閣府の認定を受け、公益財団法人となりました。2025年4月には定款の一部を変更し、「日本と海外につながりをもつ子どもたち」も対象に支援事業を行えるようになりました。

―― 様々なご苦労もおありのことでしょう。

現在、海外に暮らす日本人の子ども(18歳未満)は24万8千人を数えます。わが国の主権が及ばない海外での子女教育は、従前より基本的に民間の自助努力によるものとされています。JOESは設立以来、海外進出企業の赴任者・帰任者のための教育相談・情報提供や出国前、帰国後の各種教室、通信教育等の提供のほか、日本人学校・補習授業校への財政上・教育上の援助をはじめ、政府の行う諸施策および維持会員の要望に相呼応して幅広い事業を展開・実施しています。JOESの果たすべき役割の重要性はますます増大しています。

―― 建議・提言やセミナーを日外協とご一緒に。

2013年に自由民主党に所属する国会議員による「海外子女教育推進議員連盟(現・在外教育推進議員連盟)」が発足して以来、(一社)日本貿易会と共に日外協とは年2回の議連総会を軸に、海外子女教育の推進、在外教育施設に対する国の支援の充実等を訴えてきました。また、2023年度からは企業・団体が積極的な海外展開を図る上で、海外赴任者が安心・安全に海外生活を送れるようオンラインセミナーを共同開催しています。特に中堅・中小企業の海外人事の担当者が海外赴任者を派遣する上で知っておきたい海外での「健康管理」「安全対策」「子女教育」の三大分野について、それぞれエキスパートが解説。「海外派遣の基礎知識」を紹介するセミナーとして好評を博しているため、毎年秋頃の開催を継続したいと考えています。

―― 日外協への評価と期待することは？

民間企業の出向者により運営されている一般社団法人ではありますが、各種イベントの開催から月刊誌の発行まで、様々な活動を少数精鋭の体制でいつも一所懸命に頑張っておられると思っています。また、上記の政府への建議・提言や共同開催セミナーでは、それぞれの得意分野を相互補完し、理想的なコラボレーションが実現しています。

これからも会員企業の皆さんや、帯同されるご家族の方々が安全に安心して海外に赴任できるよう、一層の協力関係を築いて、同じ目標に向かって努力していきたいですね。 (談) ■

(あさはら・さとる)

神戸大学卒業後、1990～95年ニュージーランドの補習授業校に勤務。1995年入団。情報サービスチームリーダー、総務チームリーダー、総務部長などを経て、2020年から業務執行理事。



国際機関 日本アセアンセンター



共に日本とASEAN諸国の 架け橋として



国際機関 日本アセアンセンター
主任広報担当官

宮内 智子氏

—— 設立の時期や動機について教えてください。

日本アセアンセンター(AJC)が設立されたのは1981年です。当時、日本の進出に対して東南アジア諸国の間には激しい反発がありました。そこで、従来の経済関係中心だった東南アジア諸国との関係を修正し、地域の安定的発展と相互依存を重視する姿勢が打ち出されたのです。日本の東南アジア外交における1つの転機と言っているでしょう。

当センターは、ASEAN加盟国政府と日本政府との協定によって国際機関として設立され、現在ではASEAN全10カ国および日本が当センターのメンバー国となっています。

—— 主な活動の分野や内容は？

日本とASEAN諸国間の「貿易」「投資」「観光」におけるパートナーシップの強化と、「人物交流」の促進を主な目的として、架け橋となる活動をしています。日本の関係各省ならびにASEAN諸国の貿易・投資・観光促進機関や駐日大使館と密接な連携を保ちながら、日・ASEAN双方のニーズを踏まえ、貿易・観光といったテーマ別セミナーやワークショップの開催、産業分野ごとのASEAN各国高官と日本人投資家の政策対話、人的交流プログラム、各種情報提供など

多岐にわたる事業を実施しています。

—— 「日本語スピーチ発表会」について。

1986年から始まった日外協の「ASEAN日本語スピーチ・コンテスト優秀者日本^{しょうへい}招聘事業」の一環で、年1回開催される「日本語スピーチ発表会」を2016年から共催し、AJC内アセアンホール(東京都港区)を会場として提供しています。AJCの「人物交流」の促進という目的に合ったイベントだと思っています。当日は日本アセアンセンター事務総長賞と日外協会長賞の選出と授賞式もオンラインでライブ配信しますので、発表者の母国のご家族にもリアルタイムでご覧いただいています。また、各国の駐日大使館員の方や留学生、友人や知人などの多くの関係者が応援に駆けつけ、毎年大いに盛り上がります。AJCのキャッチフレーズ「日本とASEANをつなぐ。こころとこころでつながる」を体現できるイベントとして、とてもやりがいを感じるとともに、毎年開催を楽しみにしております。

—— 日外協への評価と期待することは？

日本語が堪能なASEAN諸国の若者たちを日本に一同に招聘する規模の事業はAJCでは行えません。その一方で、AJCと駐日ASEAN各国大使館は連携して活動しているので毎年招待し、参加した方々には大変喜んでもらっています。AJCと日外協はこのように互いにフォローしながら協力し合えるパートナーです。これからも「日本語スピーチ発表会」を通じて、日本とASEAN諸国の友好のために尽力してまいりましょう。

(談)

(みやうち・ともこ)

上智大学卒業後、在外公館派遣員として在ブルネイ日本国大使館に勤務。日本企業にてインバウンド関連ビジネスに従事した後、2018年から現職。